

【概要・目標】

がんの予防，ゲノム医療に伴う個別医療から終末期に到るプロセスにおいて、がん患者・家族への援助に有用な理論および基礎的概念を学習し、がん看護が抱える課題とがん看護専門看護師の役割について自らの考えを深める。特に、がん患者・家族に有用な概念・理論について、実践および研究への活用に向け探求する。

---

【授業内容・スケジュール】

1. がん看護に携わる看護師の役割と研究への取り組みの必要性
- 2-3. がん対策基本法およびがん対策推進基本計画の理解，個別医療の推進の中で必要とされる看護研究を展望する
- 4-5. 疾患への適応に関する理論
- 6-7. 喪失と危機理論 (Loss & Crisis)
- 8-9. 悲嘆 (Grief - Mourning) の理解
- 10-11. 社会的サポート，社会資源の活用に関する研究
- 12-15. 患者の QOL 向上を目指した介入研究

---

【評価】

下記の事項について、総合的に判断して評価する。

- 1) 指定文献の読み込みとその理解状況（プレゼンテーションおよび意見交換）30%
- 2) 出席状況と授業への取り組み、経験を元にした問題意識と今後の課題への気づき 30%
- 3) 課題レポート 40%

---

【テキスト】

配布資料

---

【推薦参考図書】

文献は開講時に紹介する。

---

【その他】

連絡先：yamada-s@wakayama-med.ac.jp